



2020年7月29日

各 位

会 社 名 株式会社 SCREEN ホールディングス  
代 表 者 名 取締役社長 廣江 敏朗  
(コード番号 7735 東証 第1部)  
問 合 せ 先 執行役員 経営企画室長 樋口 義之  
TEL (075) 414-7192

## 中期経営計画「Value Up 2023」策定に関するお知らせ

当社グループは、このたび、2021年3月期から2024年3月期の4カ年を対象とする中期経営計画「Value Up 2023」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 中期経営計画「Value Up 2023」策定の背景

当社グループは、2018年3月期～2020年3月期の3カ年におきまして中期3カ年経営計画「Challenge 2019」に取り組んでまいりました。この間、半導体の需要拡大の機会をとらえ、3年間継続して、目標の売上高3,000億円/年を上回ることができました。特に、初年度は過去最高の営業利益427億円を達成し、純有利子負債ゼロ（ネットキャッシュ）も実現いたしました。しかしながら、中計後半は、売上拡大局面におけるオペレーションの混乱や景気下降局面での収益性低下により、最終年度の営業利益率は目標未達の結果となりました。さらに、キャッシュ創出力に大きな課題が残りました。今期から始まる中期経営計画につきましては、初年度が新型コロナウイルスの影響下にあることに鑑み、対象期間を従来の3カ年から4カ年に延長し、中期経営計画「Value Up 2023」を策定いたしました。われわれを取り巻く事業環境は、変化が激しく、スピードとイノベーションが求められるものの、常にビジネスチャンスは存在し、市場としても成長し続けるものと認識しております。中期経営計画「Value Up 2023」では、資本効率の内部管理強化を通して収益構造と財務基盤を一層盤石にするとともに、「Sustainable Value（社会的価値）」と「経済的価値」からなる「SCREEN Value（企業価値）」向上を目指し、持続的な利益創出や株主還元などを推進してまいります。また、次の成長に向けた積極的なアクションとして、成長に向けたリソースの配分およびオープンイノベーション、M&Aにも取り組んでまいります。

#### 2. 基本コンセプト

「“ソリューションクリエイター”としての業界でのプレゼンス確立」

\*「ソリューションクリエイター」とは、社会的な課題・ニーズを解決する技術、製品、サービスなどを世界中のお客さまに提供し、社会の発展に寄与することによって、企業価値を高める企業体のことを指します。

#### 3. 主たる取り組み

- ① イノベーションの創出と持続的成長サイクルによる企業価値向上
  - 戦略的な開発投資を軸に、オープンイノベーション推進やM&Aの活用により、事業ポートフォリオを強化
  - 新規事業の創出へチャレンジ継続（ライフサイエンス、検査・計測、エネルギー、AI）

- ② 収益性と効率性を追求し、利益に見合うキャッシュを創出
  - ROIC 指標導入を通して、各事業における資本効率を向上
  - 営業キャッシュフローの安定的な創出により、成長分野への投資を強化
  
- ③ サステナブル企業に向けた ESG への取り組み
  - 社会の持続可能な発展に貢献する Sustainable Value（社会的価値）向上の指針に基づき、中期計画「Sustainable Value 2023」を策定し実施

E（環境）：事業活動を通じた環境負荷低減の取り組み  
S（社会）：働きがいのある環境づくりと社会課題解決への積極的な取り組み  
G（ガバナンス）：リスクマネジメントと事業継続計画の強化

\*ESG とは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の頭文字を取ったもの

#### 4. 経済的価値の目標

- ① 売上高：最終年度4,000億円以上
- ② 営業利益率：最終年度15%以上
- ③ ROE：最終年度15%以上
- ④ 営業キャッシュフロー：4年間で累計1,200億円以上
- ⑤ 株主還元：2022年3月期以降 連結総還元性向30%以上（2021年3月期は25%以上を継続）

\*上記5項目の数値目標はオーガニック・グロースを前提としております。

上記における将来数値は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上